

## 第2回上水道整備促進検討部会及び環境整備・交通対策推進委員会議事録

1 日時・場所 2025年11月6日(木) 9:30~11:05  
公民センター・2F視聴覚室

2 出席者 白井市

企画政策課：村越課長、河野主事  
上水道整備促進検討部会  
伊藤部会長（丸喜化学工業(株)）、助川副部会長（あしかメディ工業(株)）、  
永井委員（(株)黒田製作所）、大塚委員（野水鋼業(株)）、  
森川委員（(株)コスモテック）、栗原委員（(株)シラヤマ）  
三 役：駒村代表理事、尾籠副代表理事  
事務局：岡田事務局長

3 議事事項

第1号議事 意見交換

1. 市営水道事業について（別添資料のとおり）
2. 市営水道・県営水道給水区域図について（別添資料のとおり）

【白井市企画政策課からの説明】

- ・平成27年（2015年）一白井市都市マスタープラン（20年間）策定
- ・都市マスタープランの中で、全市給水を目指しますと記載されている。
- ・昭和49年7月に印旛地域全域が地下水採取規制地域に指定された（家庭用の井戸は含まない）ことから、不足する水量を補うため、水源を表流水に求めることになった。
- ・白井市は昭和59年に水道事業に着手しているが、印旛広域市町村圏事務組合水道企業部（以下「印広水」という。）が昭和56年3月から用水給水事業を開始したので、白井市は井戸等の自己水源を所持することなく、印広水から用水給水を受けることで事業化に至った。地下水採取規制以前から水道事業を実施している自治体、団体は自己水源として井戸を所持しているが、白井市は規制以降に水道事業に着手しており、印広水からの供給により必要水量が確保されていたため、井戸は所持していない。
- ・新たな水源（印広水からの用水供給量）の確保の取り組みについては、印広水からの用水供給量は、各構成団体の給水計画に基づき配分が決まっている。
- ・白井市が各家庭へ供給している水量が、印広水から市へ供給可能な水量の上限に達しつつあり、新たな需要に対応することが困難な状況である。
- ・白井市では、供給不足となっている現状や、新たに工業団地への給水を見込んでいることから、新たな水源の確保（配分量の見直し）について印広水と協議を行っている。令和2年12月31日に認可水量の5,740m<sup>3</sup>/日を超過し、5,934m<sup>3</sup>/日となった。
- ・白井市は、令和4年に必要水量を9,330m<sup>3</sup>/日とし、印広水との交渉を開始しているが、印広水側から5,740m<sup>3</sup>/日の1割増しは了解が得られている。
- ・以前は、配分量が余っている自治体があれば、配分量の見直しは可能と言っていたが、過去の事業費の精算などの課題があり見直しはできなかった。
- ・今年に入り、あらためて交渉しているが、データセンターなどの水を見込んでいることから、配分量を減らせる自治体はなく対応できない状況となっている。

【意見交換】

- ・ 今の説明を受け、我々工業団地協議会は何をすればいいのか？
- ・ 工業団地に上水道を敷設する以前の話しである。
- ・ 井戸水しかないのだから、市が何メートル掘削すれば良い水が出ることを調査してほしい。
- ・ 印広水から水の配分を受けられないのであれば、県営水道からは受けられないのか？  
この工業団地は、県が造成した工業団地である。
- ・ 白井市は千葉県に要望していないのか？  
⇒工業団地は、白井市の市営水道の供給エリアなので要望していない。
- ・ 白井工業団地の上水道整備については、千葉県に対しても要望書を提出することを考えていかなければならない。しかし、当協議会だけが千葉県に要望書を提出しようとしても、白井市が同調していただかないと話しは進展しない。
- ・ 印広水側との協議は誰と行っているのか？  
⇒担当者である。  
⇒担当者との協議では進展はないので、そろそろ笠井市長に出席していただくことが必要ではないか。
- ・ やはり、千葉県との交渉を進めるべきだと思う。また、上水道が敷設されるまでの間、対策をすべきである。
- ・ 人口減少であるのに融通できないのか？  
⇒印広水からの水（管）の流れが、成田市～印西市～白井市となっており、この地域はさらなる発展が見込まれているので難しいのかも知れない。
- ・ 河原子街道に印広水送水管Φ350と記載されている。工業団地のすぐそばに印広水の送水管があるとは思わなかった。

第2号議事 今後の会議日程の件

- ・ 第3回会議 12月4日（木）9：30～ 公民センター会議室
- ・ 印広水送水管や県営水道及び市営水道の送・配水管の敷設位置について確認したいので、市の上下水道課職員に出席していただく。

【内容】

- ・ 第2回会議での意見交換をさらに深掘りします
- ・ 県営水道及び市営水道の送・配水管の敷設位置について
- ・ 市営水道の使用水量について
- ・ 工業専用地域内の下水道使用水量について など